

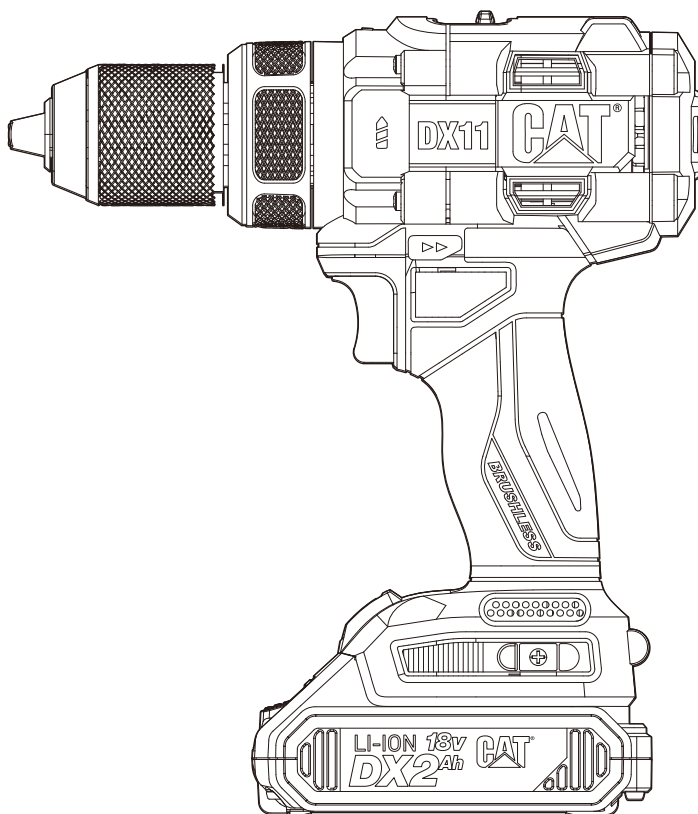


ITEM#48094
DX11 (工具本体)
DXB2 (バッテリー)
DXC4 (充電器)

取扱説明書

コードレスドリルドライバー

この度は、**CATERPILLAR** コードレスドリルドライバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。



米国キャタピラー社
(ライセンス認証商品)

1. コードレス工具の安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。



警告

- 専用の充電器やバッテリーを使用してください。
記載されている指定の充電器やバッテリーを使用してください。
指定外のバッテリーを使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼすおそれがあります。
- バッテリーの端子間を短絡（ショート）させないでください。
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などのおそれがあります。
- バッテリーの内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。
発熱・発火・破裂などのおそれがあります。
- 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 工具本体やバッテリーは、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙のおそれがあります。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - ・ 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある場所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災のおそれがあります。
- 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
- 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

警告

● 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを工具本体から取り外してください。

- ・使用しない、または準備・調整・保守・点検・修理する場合。
- ・付属品や別売品を取り付け、交換する場合。
- ・その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

● 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛けて運ばないでください。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

● 指定の付属品や別売品を使用してください。

この取扱説明書に記載されている指定の付属品や別売品を使用してください。

事故やけがの原因になります。

● バッテリーを火の中に投入しないでください。

破裂して、有害物質が出るおそれがあります。

注意

● 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

● 子供を近づけないでください。

- ・作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ・安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

● 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる場所に保管してください。
事故の原因になります。
- ・工具本体やバッテリーの温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。
バッテリー劣化の原因になり、発煙・発火のおそれがあります。

● 無理して使用しないでください。

- ・安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
能力以上での使用は、事故の原因になります。
- ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙・発火のおそれがあります。

注意

●作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ・小形のコードレス工具や別売品は、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

●きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。

●無理な姿勢で作業しないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

●コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- ・付属品や先端工具の取り付け・取り外しは、取扱説明書に従ってください。
- ・グリップ部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。けがの原因になります。

●油断しないで十分注意して作業をしてください。

- ・コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの原因になります。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

注意

● 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、または所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他作業に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。
誤作動して、けがの原因になります。

● コードレス工具の修理は、専門業者に依頼してください。

- ・専門業者以外の方は、工具本体やバッテリーの分解・修理・改造をしないでください。
発火や誤作動など、けがの原因になります。
- ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

2. 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスドリルドライバーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。
- 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 使用中は、ビットやドリルなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。

警告

- 使用中、本体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- 工具体体の端子部（バッテリー取り付け部）に、切りくずやほこりがたまるようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、本体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に本体を放置しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火などのおそれがあります。
- 工具体体の端子部（バッテリー取り付け部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火のおそれがあります。

注意

- 工具類（ビットやドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実にないと、使用中にはずれたりし、けがの原因になります。
- 使用中は、軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
- 穴あけ直後のドリルや切りくずは高温になっているので、触れないでください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- 細径のドリルは折れやすいので注意しながら使用してください。
飛散して、けがの原因になります。
- 本体で材料をたたく、落下などの強い衝撃を加える、水にぬらすなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動などをおこす原因になります。
- LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- バッテリーは確実に取り付けてください。

<騒音防止規制について>

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑を掛けないう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

3. リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。

リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。

これは、保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能解除後、再びご使用いただけます。

- ①電池残量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。
- ②工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③バッテリーが過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
バッテリーの使用を中断し、工具本体より取り外して、風通しの良い日陰などでバッテリーを十分に冷ましてください。

さらにバッテリーの液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- バッテリーの端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、本製品に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に放置しないでください。
- 誤って落とすなど、バッテリーの端子部に変化が生じた場合は、使用しないでください。
また、外傷、変形の著しいバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーに釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

警告

- バッテリーを指定機器以外の用途に使わないでください。
- バッテリーを電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- バッテリーが液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- バッテリーの使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

注意

- バッテリーが液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- バッテリーが液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になります。
- バッテリーを一般のごみと一緒に捨てないでください。
- バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。
- バッテリーの仕様表示に従って、正しく使用してください。

4. 充電器の使用上のご注意

火災、感電、けがなどの事故や、バッテリーの発熱、発火、破裂を未然に防ぐために、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- 指定のバッテリーを充電してください。
この取扱説明書に記載されている、指定のバッテリーを使用してください。

警告

●正しく充電してください。

- ・定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
- ・指定（仕様）の使用温度範囲外では、充電しないでください。正しく充電されないばかりか、バッテリーの寿命が短くなります。
- ・換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などでおおわないでください。

注意

●コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜いたりしないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった場所などに近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。

●注意深く手入れをしてください。

- ・各部部品の取り付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
- ・充電する前に、充電器および電源プラグやコードを点検し、損傷している場合には修理してください。
- ・延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。

●屋外使用に合った延長コードを使用してください。

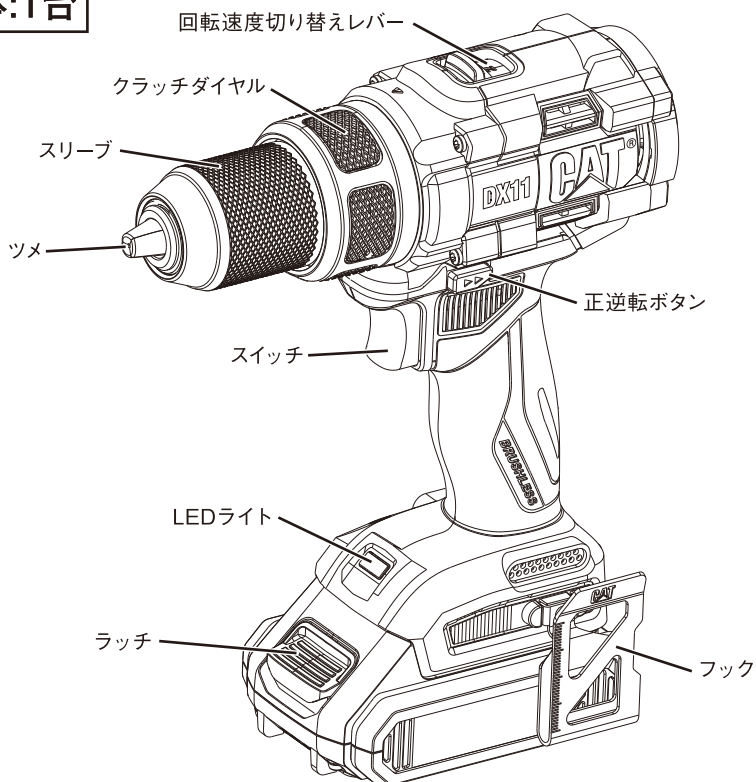
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

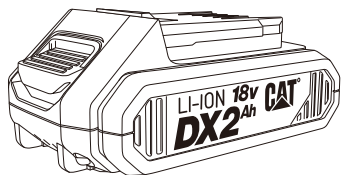
- ・専門業者以外の方は、分解・修理をしないでください。
- ・異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・この充電器は該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。

5. 各部の名称

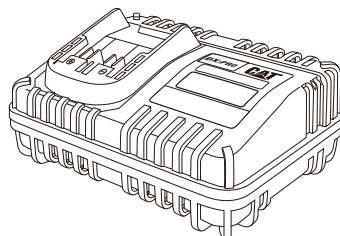
工具本体:1台



バッテリー:2個



充電器:1台



6. 仕様

●工具本体

品番		DX11
能力	穴あけ	鋼材：直径13mm
		アルミ：直径13mm
		木材：直径40mm
	ねじ締め	小ねじ：M6
		木ねじ：φ6mm×75mm
最大締め付けトルク	低速	約65N・m
	高速	約21N・m
無負荷回転数 (気温20℃満充電時)	低速	0～500min ⁻¹ (回/分)
	高速	0～2000min ⁻¹ (回/分)
モーター		直流モーター
ドリルチャック能力		1.5～13mm
使用可能バッテリー		スライド式リチウムイオン電池
電池電圧		18V
寸法		長さ198×幅100×高さ244mm (バッテリー:DXB2、フック含む)
質量		約1.8kg (バッテリー：DXB2、フック含む)
LEDライト		白色LED

●バッテリー

品番	DXB2
種類	円筒密閉型リチウムイオン電池
電池電圧	18V
容量	2.0Ah
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器：DXC4
残量表示ランプ	緑色LED

●充電器

品番		DXC4
充電可能バッテリー		リチウムイオン電池 18V (DXB2、DXB4)
電源		単相100-240V 50/60Hz
充電電圧		18V
充電電流		4.0A
満充電時間	DXB2	約35分
	DXB4	約68分
質量		0.6kg (バッテリー含まない)
充電ランプ		緑色 / 赤色LED

※バッテリーの充電時間は、使用環境やバッテリーの状態により長くなる場合があります。

1回の充電で可能な作業量について

1回の充電で可能な作業量の目安は、下記のとおりです。

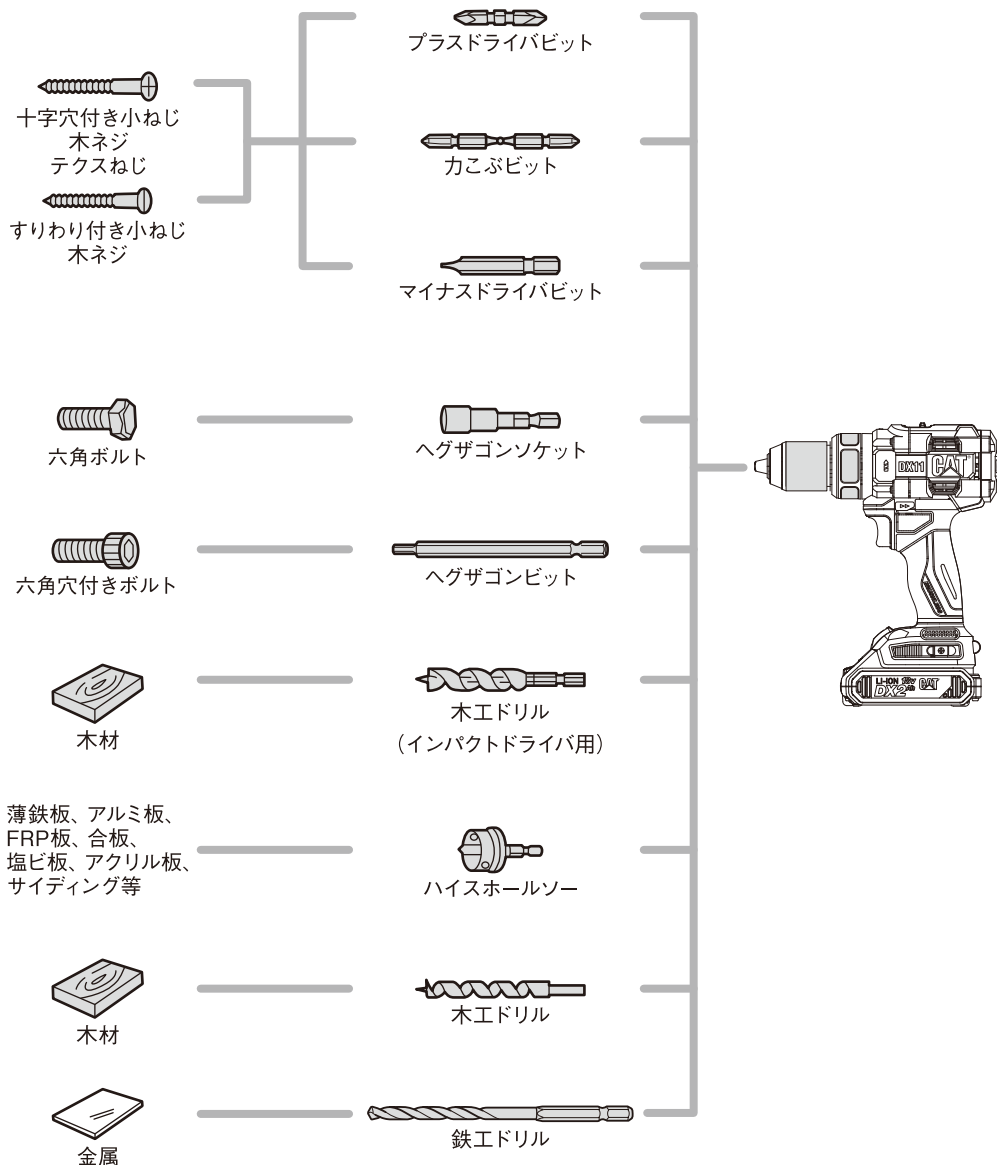
(作業量は、木材のかたさ、使用環境、バッテリーの状態などにより異なります。)

品番	内容	作業量
ねじ締め	呼び径4.1mm×長さ38mm (木ねじ・ラワン材)	約800本
木材への穴あけ	ドリル径9mm×厚さ30mm (ラワン材)	約600個
金属への穴あけ	ドリル径3.5mm×厚さ1.6mm (鋼材)	約680個

(バッテリー DXB2 使用時)

7. 先端工具(市販品)

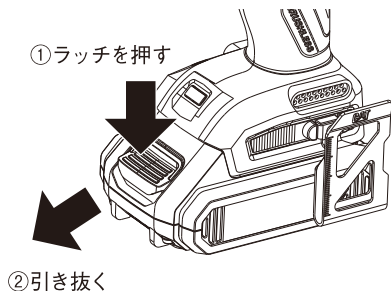
用途に応じた先端工具(市販品)をご使用いただくことで、いろいろな作業に利用できます。



8. バッテリーの取り外し・取り付け

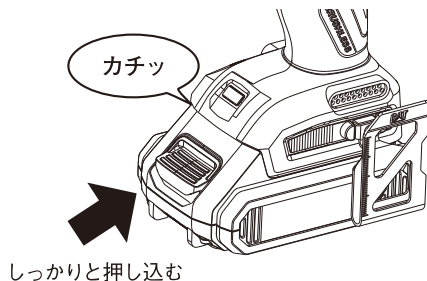
●取り外すとき

バッテリーを工具体から取り外すときは、ラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



●取り付けるとき

バッテリーを取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



9. フックの付け替え

フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

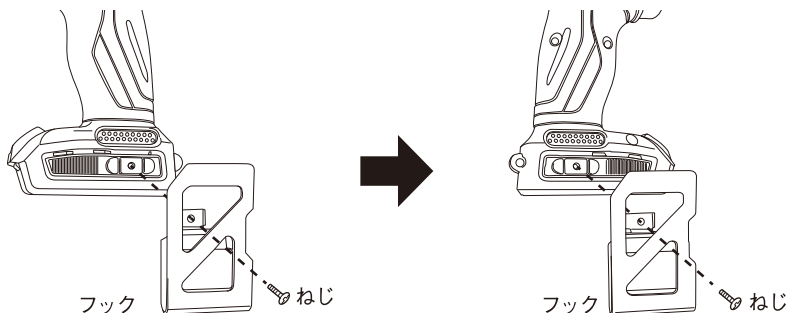
⚠ 注意

- ・フックを腰ベルトに掛けて本製品を運ぶときは、先端工具を取り外してください。
- ・フックを使用するときは、本製品が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- ・フックはしっかりと取り付けてください。

●付け替え方法

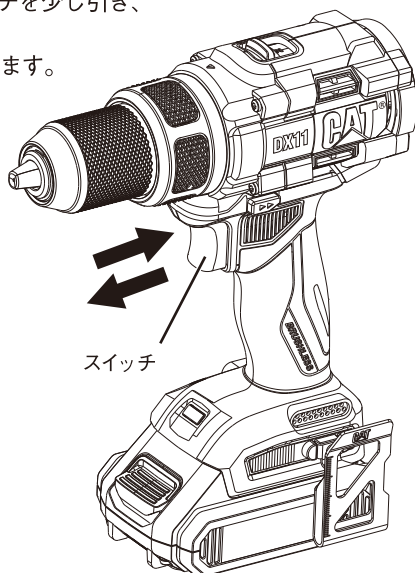
プラスドライバーを使用して、ねじを取り外します。

フックを反対側に取り付け、ねじでしっかりと締め付けます。



10. スイッチについて

スイッチの引き込み量で、回転数が変わります。
ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引き、
ゆっくりスタートしてお使いください。
また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

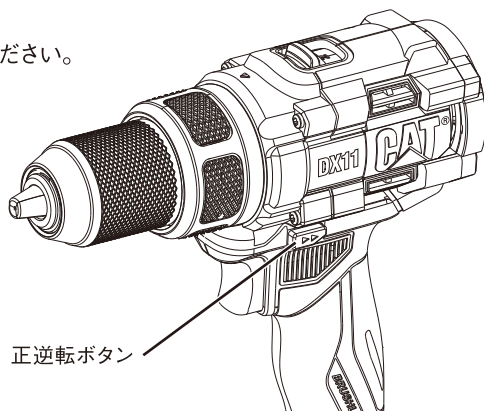


11. 正逆転ボタンについて

正逆転ボタンを押して締め付け（ゆるめ）方向に合わせます。
中間の位置では、スイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

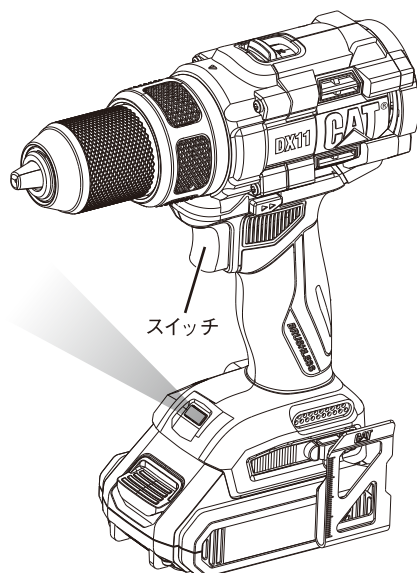
（注意）

運転中は正逆転ボタンの切り替えはできません。
正逆転の切り替えは、スイッチを切ってから操作してください。



12. LEDライトの使い方

スイッチを引いている間、自動的にLEDライトが工具先端部を照らします。
わずかにスイッチを引くことにより、先端工具を回転させることなく、LEDライトを点灯でき、
暗い場所での作業時に便利です。



13. キーレスチャックの使い方

必ずバッテリーを取り外した状態で先端工具の取り付け、取り外しを行ってください。

●ゆるめる

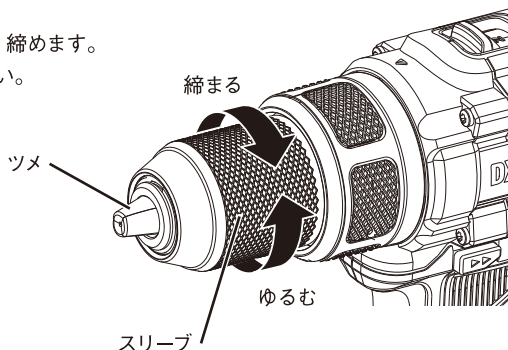
スリーブを左方向（正面から見て反時計回り）に回し、ツメを開きます。

●締める

スリーブを右方向（正面から見て時計回り）に回し、締めます。

作業中にゆるんだ場合は、さらに強く締めてください。

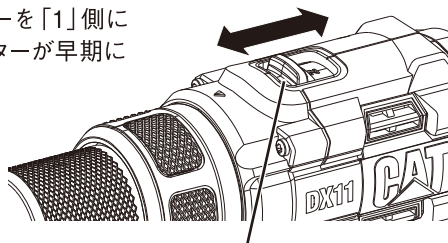
把握力が大きくなります。



14. 回転速度の切り替え

必ずバッテリーを取り外した状態で回転速度を切り替えてください。
モーターの回転中に回転速度を切り替えると、内部のギアを傷めます。

- ゆっくりした回転でねじ締めを行いたいときは、回転速度切り替えレバーを「1」（低速）へ、速い回転で行いたいときは「2」（高速）へスライドさせます。
ドリルとして使用しているときも有効です。
- ・ 大きな力が必要な作業の場合は、切り替えレバーを「1」側に
してご使用ください。「2」側で使用すると、モーターが早期に
故障する場合があります。

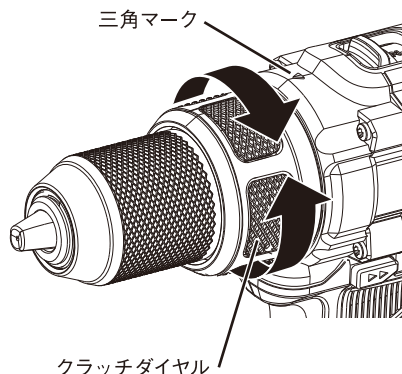


回転速度切り替えレバー

15. 締め付けトルクの調整

クラッチダイヤルの目盛を変えることにより、締め付けトルクを調整できます。目盛の数値が大きくなるほど大きな力でねじ締め（またはねじはずし）ができます。

- ・ 必要以上に力がかかると、クラッチが作動して（カチャカチャと音がする）ねじの締めすぎを防止します。
- ・ 三角マークと目盛「1 ～ 20」または「－」、ドリルマーク  が合うようにクラッチダイヤルを回します。

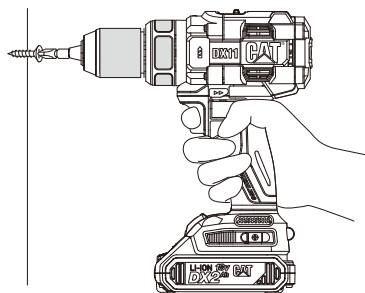


16. ねじを締める / はずす

⚠ 注意

- ・締め付けるねじに対して、本製品をまっすぐに保持してください。
本製品が斜めになると、ねじの頭部を傷めるおそれがあります。
- ・スイッチの引き加減や締め付けトルクの調整は、事前にお試ください。
- ・2個目のバッテリーを使用して連続作業する場合は、本製品を15分以上休止させてください。
- ・ねじを締め付ける際は、ねじからビットが外れないようにしっかりと本製品を保持してください。
ビットがねじからはずれ、ねじが手にあたってけがをするおそれがあります。

- ①ねじの頭の溝にビットを合わせてスイッチを少しずつ引きながら、ビットがねじの頭からはずれない程度の力で押しつけます。
- ②クラッチが作動したら、スイッチを戻します。



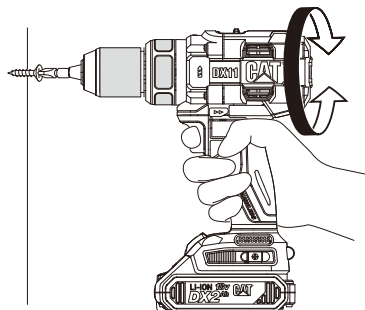
木ねじを締め付ける場合は、木ねじの径よりも細いキリで下穴をあけておくと、材料のワレを防ぎ、作業が向上します。

手回しドライバー（手締め機能）

締め付けの状態の確認に便利です。

ソケットビットなどでの無理な締め付けや、サビついたねじの無理な取り外しはしないでください。

- ①スイッチを切ります。
- ②正逆転ボタンを中間位置にします。
- ③本製品を手で回します。



17. 穴をあける

⚠ 警告

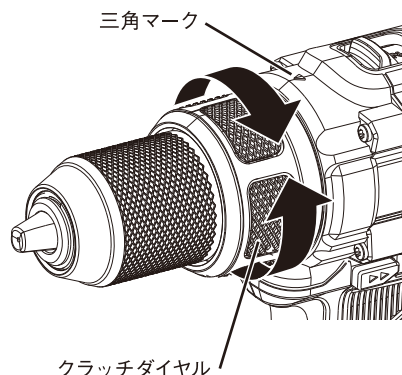
- ・穴の抜けぎわは、キリが折れたり、本製品に大きな力がかかり振り回されるおそれがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。けがの原因になります。
- ・キリを逆転させて抜くときは本製品が振り回させるおそれがありますので、本製品をしっかり保持してからスイッチを入れてください。
しっかりと保持していないと、けがの原因になります。
- ・作業直後のビットや切りくずは大変熱くなっていますので、触れないでください。鉄工穴あけをする場合は、注油により十分に材料を冷却して行ってください。火傷のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・スイッチの引き加減や締め付けトルクの調整は、事前にお試してください。
- ・2個目のバッテリーを使用して連続作業する場合は、本製品を15分以上休止させてください。

- ①クラッチダイヤルを回して、三角マークにドリルマーク  を合わせます。
- ②ドリル（キリ）の先端を穴のあけたい位置に合わせてスイッチを引きます。
- ③穴があいたらスイッチを戻し、ドリル（キリ）を引き抜きます。
※ドリルの作業時には、締め付け力の調整は必要ありません。

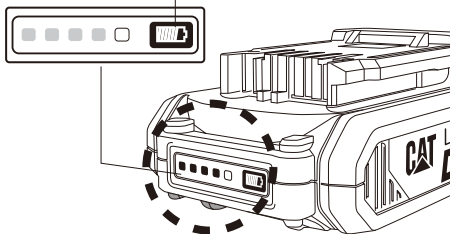
金属板に穴をあける場合は、穴あけ位置にセンタポンチでクボミをつくることによりキリの先端がすべらず、正確な位置に穴あけができます。



18. 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。
電池残量表示は、使用環境、バッテリーの状態などにより異なりますので目安としてください。

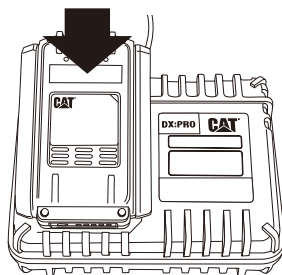
電池残量表示スイッチ



ランプの点灯状態	電池残量
	80%以上
	60%～80%未満
	30%～60%未満
	10%～30%未満
	1～10%未満
	1%未満

19. バッテリーの充電

付属の充電器で、バッテリーを充電します。
電源プラグをコンセントに差し込んだ後、バッテリーを充電器にしっかりと差し込みます。
充電が開始されると、赤色のランプが点灯します。
ランプが緑色に変わると充電完了です。



ランプ色	点灯状態	状態
緑	連続点灯	・待機中 ・充電完了
	点滅	バッテリー温度異常 充電器より取り外して、風通しの良い日陰などでバッテリーを十分に冷ましてください。
赤	連続点灯	充電中
	点滅	・バッテリー不良 ・充電器またはバッテリーの端子部に異物が入っている

20. 保護機能について

本製品を使用中、下記状態になるとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり、故障ではありません。

- 本製品およびバッテリーの温度が高温になると、モーターが自動停止します。
 - ・使用を中断して本製品よりバッテリーを取り外し、冷ましてください。
 - ・バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
- バッテリーの容量が少なくなると、モーターが自動停止します。
 - ・本製品からバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
- 本製品が過負荷状態になると、モーターが自動停止します。
 - ・いったんスイッチを放して本製品よりバッテリーを取り外した後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば、再びご使用いただけます。

21. 保守・点検について

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを取り外してください。
バッテリーを本製品に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

●本製品のお手入れ

- ・乾いた布、または薄めた中性洗剤を付けた布で、きれいに拭いてください。

株式会社 プロト

〒675-1201 兵庫県加古川市八幡町宗佐1440



0570-033-634

平日 AM10:00~PM5:00

IP電話からは 050-3503-6345



www.cat.com / www.caterpillar.com

© 2022 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, BUILT FOR IT, and their respective logos, "Caterpillar Yellow," the "Power Edge" trade dress as well as corporate and product identity used herein, are trademarks of Caterpillar and may not be used without permission.

Orient Fan Co., a licensee of Caterpillar Inc.